

井奥まさきの市政ニュース

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9

事務所 兵庫県高砂市荒井町御旅1-5-6

E-MAIL ioku3@gmail.com

TEL 079-444-2343

FAX 079-444-2418

2018年6月号 通算124号

3つの政策①新産業などで仕事づくり

行政が少し後押しして

鉄道沿線の開発、商業活性化を



青字に黄色下線は井奥の提案

矢印の写真は各駅の課題 (伊保駅も荒井駅も他にも課題あり)

9万人を切った急速な人口減少、借金500億円時代に突入して市民病院の経営も苦戦中と厳しい状況が続く高砂市。上の図にあるように鉄道沿線もさまざまな課題を抱えています。それでも明るい材料もあります。

例えば、加古川市や明石市といった都市に比べても**昼間の人口が夜の人口より多い**ということです。それだけ昼間の働き場所が高砂市に存在するのです。昼間の**流入人口が約2.5万人**いるのは大きな強みです。流出人口も2.4万人以上です。駅や道路を使って移動する人口が多いという高砂市の特長を活かすまちづくりが重要です。



井奥まさきプロフィール
高砂市議4期目52歳。伊保小、淳心中高から岡山大学へ。妻と子ども2人(中2、小6)で荒井町新浜在住。高砂町生まれ。母は元幼稚園教諭。

特に**鉄道駅はその自治体の「顔」**とも言える場所です。大規模な開発をめざして失敗してきた今までの計画を反省し、マンションで1階が店舗など**現実的なプランBの開発計画が必要**です。

残念ながら高砂市の規模と位置では民間だけに任せては開発は進みません。市の支援も必要です。アスパ高砂の成功例を参考に、事業への融資保証や周辺住民との話し合いのサポートなどで大きな予算を使わなくても開発を進め、**仕事づくりと住みたくなるまちづくり**を目指すべきです。

高砂市の強みは昼間人口が多いこと

自治体名	昼間の人口
高砂市	プラス0.5%
姫路市	プラス0.5%
加古川市	マイナス11.5%
明石市	マイナス10.4%

開発手法 出資や融資あっせんで民間意欲を後押し

民間独自 成功事例

開発の手法となると「国や県から補助金をもらって巨大大業に税金をつぎこむ」という発想が生まれます。典型的なのが「30年380億円」の「山陽電車高砂駅から荒井駅付近の高架事業」です。

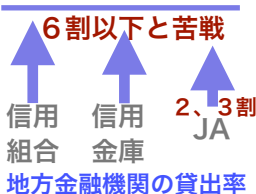
それでは財政は厳しくなり、市外に利益は流れます。「地元密着」「小中規模」の現実的な民間

5000万円の市出資と融資 あっせんで成功 アスパ高砂



プロジェクトを支援する「出資」「市の融資あっせん」がのぞましいです。地方金融機関の貸付先としても有望です。

高砂駅前に完成したマンションと1階店舗

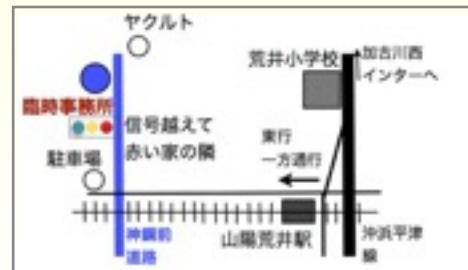


井奥まさき活動アルバム

7月下旬フルオープン予定の臨時事務所(荒井町御旅1-5-6)の整備中。6月中も土日午後など不定期開室します。

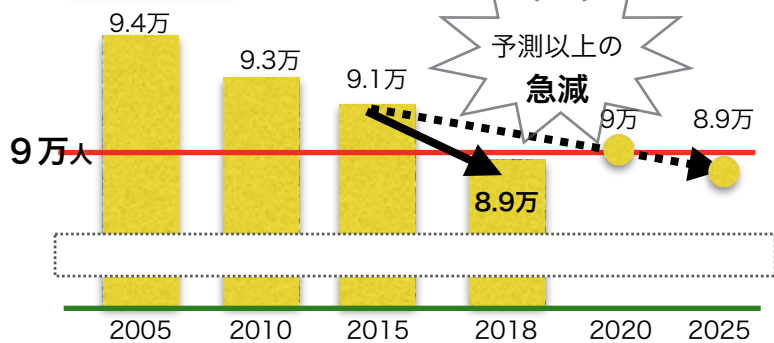


2018.6.9



人口減少

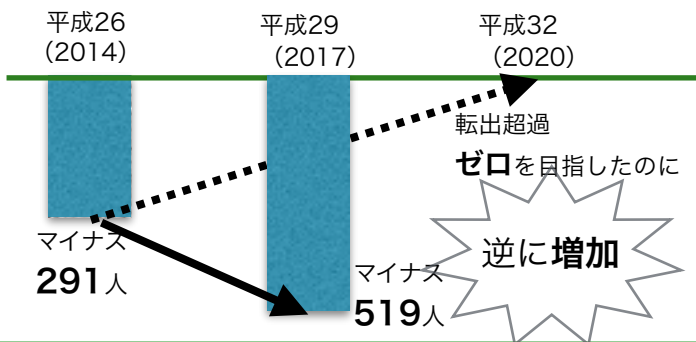
人口が9万人を下回っていた！優良なベッドタウンへの戦略を



高砂市の人口が9万人を下回っていたことが6月議会の論戦で明らかになりました。HPなどで公表されている人口は「住民票ベース」になります。実際には市外に下宿する大学生のように住民票を動かさずに移動している市民も2000-3000人います。実際の数字（国政調査ベース）では2018年3月時点で8万9385人でした。

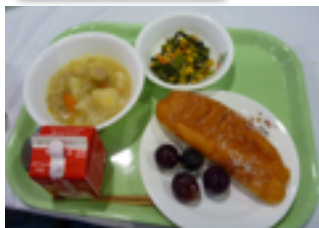
全国的な人口減少時代ですが、あまりに急激な人口減少はまちの活力を削り、コンパクトシティー化への備えが追いつかない危険性があります。

ましてや転入者より転出者が多い「転出超過」を減らそうとして逆に増えてしまったのは深刻です。おもて面に書いたような「強み」を生かし、優良なベッドタウンとして市外から高砂市への通勤者が高砂市を居住先に選ぶ政策群が必要です。



給食費公会計

学校給食費は市が責任を持って集める「公会計」化へ



平成32年（2020）1月より中学校給食が全市いっせいに始まります。これを機会にぜひとも「学校給食会」のあり方を見直していただきたいと思います。現在年間2.5億円のお金を扱う巨大な組織であり、中学校給食の全校実施に伴い、その規模はさらに拡大して年間3.5億円予算規模となります。

ところが、学校給食会は単なる任意団体であり、年ごとに変わる保護者代表が責任者です。通帳も市教育委員会の部長の個人名になっており、さま

ざまな金銭リスクに弱い体質になっています。

また、集金責任は学校長以下教師に委ねられています。負担も大きいことでしょう。私は現在のやり方を変更し、高砂市が責任を持って集める「公会計化」を行うべきだと考えます。「公会計化」した自治体では「教師が子どもと向き合う時間が8時間増えた」との報告もあります。ぜひ改革すべきです。

	現在のやり方	公会計
通帳名	個人名	高砂市
集金責任	主に教師	高砂市
団体	任意団体	高砂市

高砂市民まちづくり協議会 毎月第三土曜日14時～ユーアイ帆っとセンター

子育て日記

通学カバンが重すぎる中学生の娘 「置き勉」「電子化」は

通学カバンの重さがNHKなどで取り上げられるなど話題になっています。カラー化などで教科書が分厚くなり、1冊あたりの重量が増えたことが原因のようです。中1の頃に娘のカバンをはかりに乗せてみると8キロもありました。その当時の娘の体重が30キロ弱だったので、体重の1/4のものを背負って通学することになっていました。

「私の時代は学校に置いてきていたけどなあ」というと、「それは『置き勉』って言って禁止されているの」とのこと。

今年も新一年生が重そうなカバンを持って通学する姿をみかけます。20分、30分と通学の時間が必要な地域もあります。

盗難の際の保管責任といった課題もあるのですが、「置き勉」も必要では、と思うのですが。また、ペーパーレス時代です。紙にこだわらず、タブレット導入などで電子化も検討すべきでしょう。

子育て中の皆さんと考えたいですね。

